

託送収支計算書

事業者名 白子町ガス事業所

平成31年 4月 1日から
令和 2年 3月 31日まで

(単位:千円)

費用の部		収益の部	
項目	金額	項目	金額
営業費用	122,140	営業収益	133,420
供給販売費	102,391	託送供給収益	0
労務費	8,773	自社託送収益	133,420
諸経費	27,376	事業者間精算収益	0
修繕費	10,963	最終保障供給収益	0
消耗品費	2,441	(託送収益に相当する額を除く。)	
賃借料	51	その他託送関連収益	0
租税課金	5	(補償料等収入)	0
固定資産除却費	1,284	(償却分区域外工事負担金収入)	0
需給調整費	0		
バイオガス調達費	0		
需要調査・開拓費	0		
事業者間精算費	0		
その他経費	12,632		
減価償却費	66,242		
一般管理費	19,749		
人事関連	1,510		
土地建物関連	64		
宣伝・広告関連	0		
システム関連	422		
基礎的研究関連	0		
一般管理	17,753		
事業税	0		
託送供給特定費用	0		
最終保障供給費用	0		
営業利益	11,280		
営業外費用	986	営業外収益	26
資金調達	986	資金運用	21
雑支出等	0	雑収入	0
その他	0	その他	5
特別損失	0	特別利益	0
税引前託送供給関連部門当期純利益 (又は税引前託送供給関連部門当期純損失)	10,320		
法人税等	0		
託送供給関連部門当期純利益 (又は託送供給関連部門当期純損失)	10,320		

(託送収益明細書)

(単位:千m³、千円、円/m³)

	託送供給量	託送収益	単価
託送供給収益	0	0	
自社託送収益	2,908	133,420	45.88
事業者間精算収益	0	0	
最終保障供給収益		0	
その他託送供給関連収益		0	
託送収益合計	2,908	133,420	45.88

様式第2(第4条関係)

託 送 資 産 明 細 書

事業者名 白子町ガス事業所

平成 31 年 4 月 1日 から
令和 2 年 3 月 31日 まで

(単位:千円)

項 目	金 額
建設仮勘定	0
設備勘定(有形)	784,228
無形固定資産	133
長期前払費用	0
運転資本	6,770
繰延資産	0
託送資産合計	791,131

(注) 建設仮勘定、設備勘定(有形)、無形固定資産、長期前払費用及び繰延資産の算定方法については、期首期末平均を採用。

(一般ガス導管事業者：本支管投資額実績表)

(単位:千円)

項目	直近実績					5年平均額
	27年度	28年度	29年度	30年度	元年度	
主要導管						
本支管(主要導管以外)	68,914	77,174	105,458	101,110	108,568	92,245
計	68,914	77,174	105,458	101,110	108,568	92,245

様式第3(第5条関係)
第1表

超過利潤計算書

事業者名 白子町ガス事業所

平成 31 年 4 月 1日 から
令和 2 年 3 月 31日 まで

(単位:千円)

項 目		金 額
税引前託送供給関連部門当期純利益(又は託送供給関連部門当期純損失) (①)		10,320
託送供給関連部門の営業外費用(その他に限る。) (②)		0
託送供給関連部門の営業外収益(雑収入を除く。) (③)		26
託送供給関連部門の特別損益 (④)		0
その他調整額 (⑤=⑥+⑦)		0
	補償料等収入 (⑥)	0
	最終保障供給取引損益 (⑦)	0
調整後税引前託送供給関連部門当期純利益(又は調整後税引前託送供給関連部門当期純損失) (⑧=①+②-③-④-⑤)		10,294
調整後税引前託送供給関連部門当期純利益に係る法人税等 (⑨)		0
調整後託送供給関連部門当期純利益(又は調整後託送供給関連部門当期純損失) (⑩=⑧-⑨)		10,294
託送供給関連部門事業報酬額 (⑪)		16,695
減少事業報酬額 (⑫)		0
託送供給関連部門の営業外収益(資金調達に限る。) (⑬)		986
当期超過利潤額(又は当期欠損額) (⑭=⑩-⑪+⑫+⑬)		△ 5,415
うち想定原価と実績費用との乖離額		2,023

第2表

超過利潤累積額管理表

事業者名 白子町ガス事業所

平成 31 年 4 月 1日 から
令和 2 年 3 月 31日 まで

(単位:千円)

項 目	金 額	備 考
前期超過利潤累積額(又は前期欠損累積額) (①) (うち前期乖離額累積額) (⑦)	14,252 (+20,330)	
当期超過利潤額(又は当期欠損額) (②) (うち想定原価と実績費用との乖離額) (⑧)	△ 5,415 (+2,023)	
還元額 (③)	0	
当期超過利潤累積額(又は当期欠損累積額) (④=①+②-③) (うち当期乖離額累積額) (⑨=⑦+⑧)	8,837 (+22,353)	
一定水準額 (⑤)	15,823	
一定水準超過額 (⑥=④-⑤)	0	

(注) 一定水準額は、別表第3、2. (3)①口を採用。

第3表

導管投資額明細書(一般ガス導管事業者)

事業者名 白子町ガス事業所

平成 31 年 4 月 1日 から
令和 2 年 3 月 31日 まで

(単位:千円)

項 目	当期投資額	備 考
高 圧 導 管	0	
中 圧 導 管	3,183	
計	3,183	

第4表

内部留保相当額管理表

事業者名 白子町ガス事業所

平成 31 年 4 月 1日 から
令和 2 年 3 月 31日 まで

(単位:千円)

項 目	金 額	備 考
前期末内部留保相当額 (①)	14,252	
当期超過利潤額(又は当期欠損額) (②)	△ 5,415	
還元額 (③)	0	
当期導管投資額(又は当期特定導管投資額) (④)	3,183	
当期内部留保相当額 (⑤=①+②-③-④)	5,654	還元義務額残高 :0

第5表

乖離率計算書事業者名 白子町ガス事業所

項 目	値	備 考
想定原価（千円）（①）	422,573	
想定需要量（千m3）（②）	9,235	
想定単価（円／m3）（③＝①／②）	45.76	
実績費用（千円）（④）	400,221	
実績需要量（千m3）（⑤）	8,953	
実績単価（円／m3）（⑥＝④／⑤）	44.70	
乖離率（％）（⑥／③－1）×100	△ 2.32	

想定原価及び想定需要量は、平成29年4月から令和2年3月までの3年の合計とした。

実績費用及び実績需要量は、平成29年4月から令和2年3月までの3年の合計とした。

（注） 必要に応じ、金額の算定根拠を脚注として記載すること。